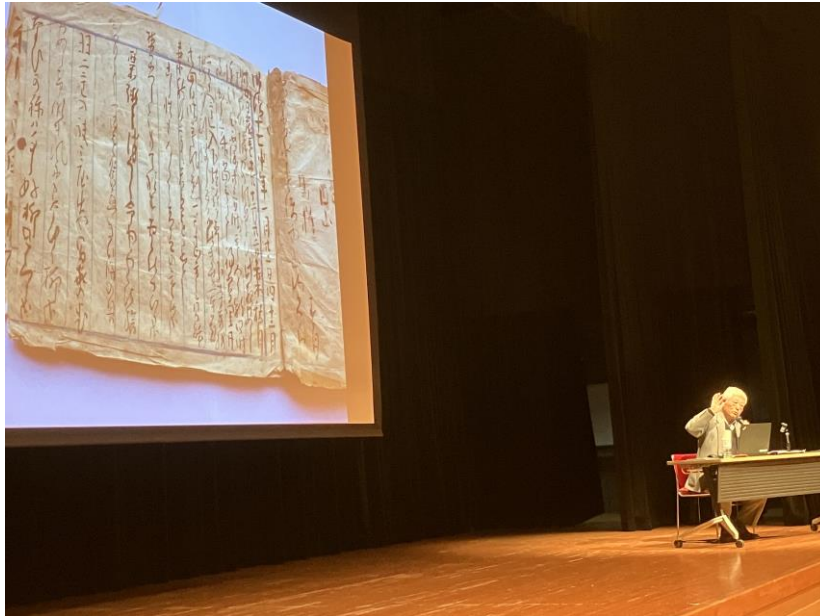


まほらいな市民大学の様子

令和6年4月9日（火）

『 俳人井月の日記より 』

講師 郷土史研究家(元手良公民館長) 宮原 達明 氏



宮原氏から俳人井上井月の生きざまについての話がありました。生活の匂いがする「一茶」と、芭蕉を崇拝していた「井月」のそれぞれの特徴について。また、「井月の年譜」と井月を世に広めた下島空谷、芥川龍之介、高津才次郎の話。種田山頭火が井月のお墓参りに来たこと。井月顕彰会ができ、北村皆雄監督の映画「ほかいびと・伊那の井月」に宮原先生が出演されたこと。毎年「井月さんまつり」と「井月忌の集い」が行われていること。そして、「井月の日記」が発見され、それを読み解くことで見えてくる井月の生きざま。怒りの表情を見せない井月。農民に寄り添う井月。酒を愛した井月。俳諧を楽しみ優しくおおらかな伊那人のことなど、ユーモアをまじえわかりやすい話がありました。

学生からは「井月の生涯を俳句とともにご講義いただき、今まで知らなかったことや自分と全く異なる価値観を感じ、興味深く聴くことができました。」「伊那の地域が井月さんを愛していたことがよくわかりました。井月さんは純粋な方だったのかなと思いました。」「伊那を代表する文化人である井上井月の生きざまを、宮原先生の穏やかで笑いを誘う語り口で拝聴することができました。井月の放浪と漂泊の生活の一端を知ることができました。」といった感想がありました。